

氏名	山本 英子	部署	看護学科	職名	講師
研究分野	母性看護学・助産学				
学位	修士(保健学)				
学歴	2006年群馬大学大学院医学系研究科博士前期課程				
経歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、07年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、14年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本助産学会、日本母性看護学会、日本母性衛生学会、日本思春期学会、日本新生児看護学会、日本小児保健協会、千葉看護学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	新訂第4版マタニティアセスメントガイド	共著	真興交易(株)医書出版部, p352	吉沢豊予子, 鈴木幸子, 中村康香, 工藤里香, 山本英子	2016.3
(2) 論文					
1	保健医療福祉系大学学生の規範意識とそれに影響する要因	共著	日本保健医療福祉科学, 5, p31-38	山本英子 , 平野裕子, 井上和久, 新井恵	2016.3
2	模擬産婦養成プログラムおよび模擬産婦と胎児心拍陣痛再生装置を用いた分娩介助演習の評価	共著	日本母性看護学会誌, 16(1), p85-92	森 美紀, 鈴木 幸子, 石井 邦子, 大井 けい子, 林 ひろみ, 山本 英子 , 北川 良子	2016.3
(3) 学会発表					
1	乳児をもつ母親における親子体操プログラムの有用性の検討	共著	第30回日本助産学会学術集会, 京都市	○ 山本英子 , 森美紀, 大月恵理子, 高橋紀子	2016.3
2	改良版模擬産婦養成プログラムの評価ープログラムの実施と模擬産婦の評価ー	共著	第17回日本母性看護学会学術集会, 千代田区	○鈴木幸子, 石井邦子, 大井けい子, 林ひろみ, 北川良子, 山本英子 , 森美紀, 岡津愛子	2015.6
3	模擬産婦を活用した学内演習における学生の学び-改良版模擬産婦養成プログラムを受講した模擬産婦の活用	共著	第56回日本母性衛生学会, 盛岡市	○林ひろみ, 石井邦子, 鈴木幸子, 大井けい子, 北川良子, 山本英子 , 芝本(森)美紀, 岡津愛子	2015.1
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究B)	乳児をもつ母親の育児肯定感を高める親子体操プログラムの開発(研究代表者)			2015.4~2016.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	母性看護学Ⅱ	2015.11	女性の運動支援について、具体的な方法例をあげて説明した。		
2	母性看護学Ⅲ	2015.11	視聴覚教材等を用いて、分娩期にある対象者(母子・家族)のイメージ化や理解が深まるように講義を行った。		
3	周産期のケア	2015.1	ガイドラインや研究結果、臨床での実際の説明も含めて講義を行った。		

4	分娩期のケア	2015.4～2015.8	助産師としてのキャリアデザインを意識し、診断・ケア技術能力が向上するよう講義を行った。	
(2) 演習				
1	母性看護学Ⅲ	2015.11～2016.1	演習内容を自己学習で深められるよう視聴覚教材を作成、活用した。	
2	周産期のケア	2015.1	模擬妊婦となり、妊娠期の運動を実際に体験することで、具体的な運動内容・運動強度・留意点、運動による快感情等の理解を促した。	
3	分娩期のケア		診断・ケア技術、コミュニケーション、チームワーク、自己評価の能力が向上するよう演習を行った。実習室の開放、指導担当教員の配置を行い、自己練習・学習の環境を整えた。	
(3) 実習				
1	母性看護学実習	2015.5～2015.6	3年次生を対象に、産科病棟を使用して、4名×3クール(計12名)の実習指導を行った。産褥期・新生児期の変化、母乳育児支援、母子相互作用について、とくに理解が深まるよう支援した。	
2	総合実習	2015.7	4年次生の助産系学生を対象に、産科外来・病棟を使用して、3名の実習指導を行った。妊娠期から産褥期の継続性を意識し、個別性の高い看護が提供できるよう支援した。	
3	助産学実習Ⅱ	2015.8～2015.9	4年次生の助産系学生を対象に、産科病棟を使用して、3名の実習指導を行った。入院の判断から分娩介助まで実施し、継続性と個別性の視点をもてるよう支援した。	
4	IPW実習	2015.1	4年次生6名の施設担当・教員ファシリテータとして、学生が積極的な参加、活発な討議ができるよう関わった。	
(4) 論文指導				
1	卒業研究	2015.2～2016.1	学部生4名の研究指導を行った。	
(5) その他				
	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	第4回ウィメンズヘルス理学療法研究会	ウィメンズヘルス理学療法研究会	周産期における運動のリスク管理	2016.2
2	ベビーマッサージ	越谷市児童館 ヒマワリ	ベビーマッサージ&エクササイズ ～親子で楽しくスキンシップ～	2015.5～2015.10
3	上尾中央総合病院看護研究指導	上尾中央総合病院	病棟(6部署)の看護研究指導を担当した。	2015.9～2016.3
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	地域専門職連携推進部会 委員			
2	実習計画調整会議メンバー			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
	該当なし			
8. 特記事項				
1	SAITAMA Smile Womanフェスタ 2015への出典;「育児期ママのエクササイズ～いつまでも美しく、お子様と一緒に楽しもう～」 パネル、DVD作成			